

金沢大学

産学官・知財関連レポート

2023



金沢大学  
KANAZAWA  
UNIVERSITY

先端科学・社会共創推進機構

Frontier Science and Social Co-creation Initiative

# 金沢大学 産学官・知財関連レポート 2023 目次

---

<b>1. 金沢大学先端科学・社会共創推進機構について</b> .....	1
・ 組織 .....	1
・ 機構スタッフ紹介 .....	2
<b>2. 共同研究について</b> .....	3
・ 民間企業との共同研究件数・研究費受入額（年度別） .....	3
・ 令和4年度 民間企業との共同研究 分野別実施状況（312件） .....	3
・ 共同研究実施件数及び研究費受入額における個別実績（令和3年度） .....	4
※文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について（令和3年度実績）」（抜粋）	
<b>3. 令和4年度 共同研究一覧</b> .....	5
<b>4. 特許出願について</b> .....	10
・ 発明届出・特許出願件数（年度別） .....	10
・ 令和4年度 特許出願 分野別内訳（72件）、教育研究職員 分野別割合 .....	10
<b>5. 令和4年度 公開特許出願一覧</b> .....	11
<b>6. 特許実施許諾について</b> .....	13
・ 特許権実施等件数（外国分含む）（年度別） .....	13
・ 特許権実施等収入額（外国分含む）（年度別） .....	13
・ 特許権実施等件数及び収入における個別実績（令和3年度） .....	14
※文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について（令和3年度実績）」（抜粋）	
<b>7. ご案内</b> .....	15
・ ワンストップサービス窓口、技術相談について .....	15
・ 金沢大学の研究シーズと特許技術の活用について .....	15
・ 金沢大学産学連携協力会会員企業様向け支援について .....	15
・ 学術コンサルティング制度について .....	16
・ 共同研究について .....	17
・ 包括連携協定について .....	18
・ 金沢大学認定ベンチャー制度について .....	19
・ 北陸未来共創フォーラムについて .....	20
・ 金沢大学産学連携協力会のご案内 .....	21

# 1. 金沢大学先端科学・社会共創推進機構について

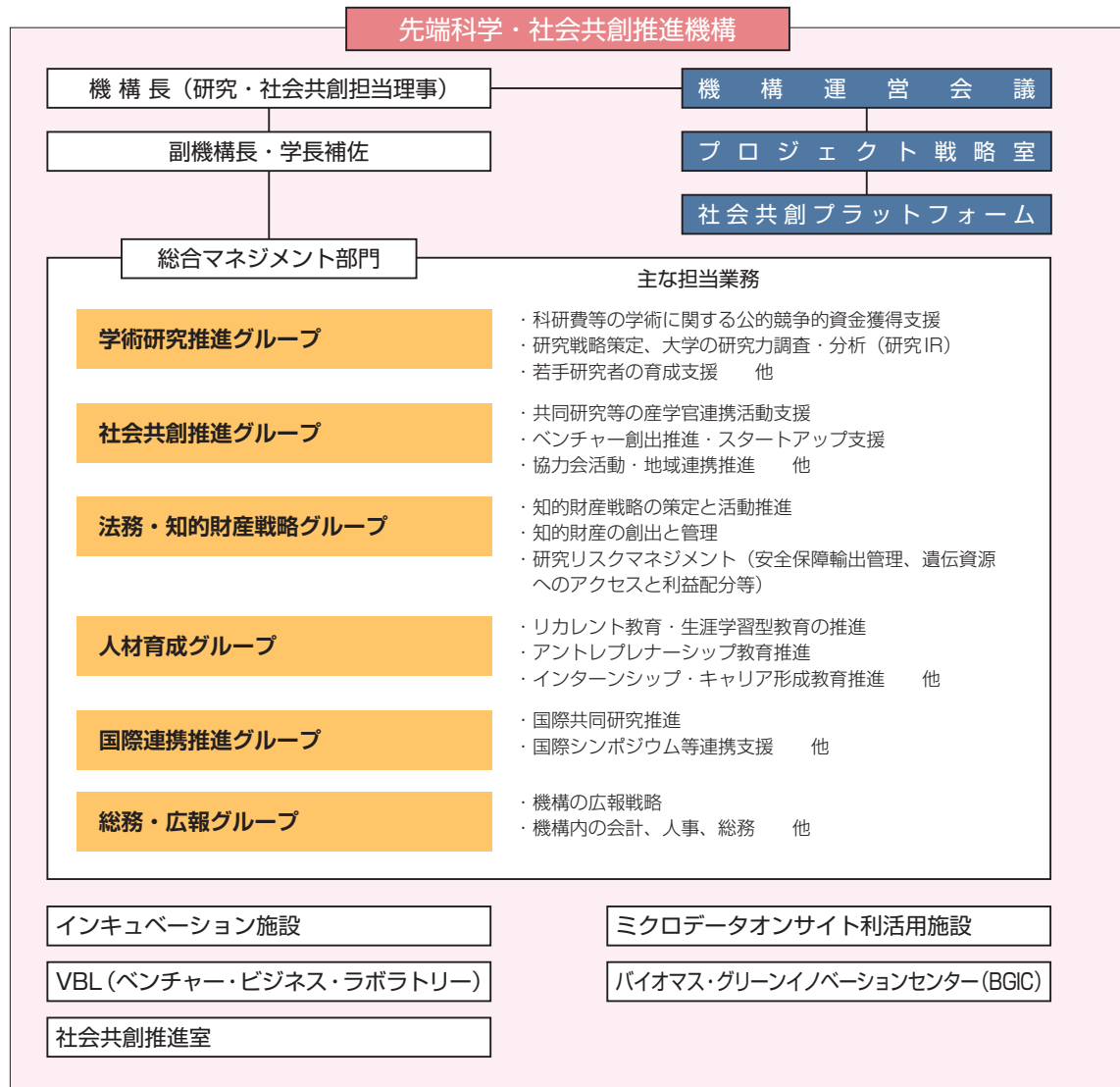
先端科学・社会共創推進機構は、①既存の枠組みを超えた融合新領域の創出による教育・研究の一層の高度化、②基礎研究から応用研究に至る一貫した研究支援、③産学官連携による研究成果の社会還元と地域社会連携による課題解決を一体化した地域共創活動の3つを推進することにより、本学の教育研究の活性化と社会貢献に資することを目指して活動しています。

## 組織

本機構は、研究・社会共創担当理事を機構長とし、総合マネジメント部門と関連施設等で構成されています。

総合マネジメント部門には、大学や企業等において、研究や開発、知的財産の創出・管理、研究プロジェクト支援等、様々な経験を積んだ多様なURA（リサーチ・アドミニストレーター）が所属しています。URAは、各グループに所属し、それぞれの業務を行いながらも、グループの枠を超えたチームを適宜形成し、課題に取り組んでいます。

産学官連携や知的財産の権利化・活用の推進に関しては、社会共創推進グループと法務・知的財産戦略グループが中心となり、他のグループのURA、事務職員、金沢大学産学連携協力会（p.21）、金沢大学ティ・エル・オー（KUTLO、p.15）等と連携しながら、本学の研究者・学生等と、企業・金融機関・産業支援機関・自治体・府省庁等、様々な学外関係者との間をつなぎます（p.15～21）。



## 機構スタッフ紹介

### 機構長

中村 慎一（理事（研究・社会共創・大学院支援担当））

### 副機構長

山岸 雅子（理事（企画評価・ダイバーシティ推進・広報戦略担当））

坂本 二郎（学長補佐（社会共創推進担当））

### 総合マネジメント部門

	副学長・副機構長・ 学長補佐	グループリーダー (URA)	担当 URA
学術研究推進グループ	松本 邦夫（副学長） 河崎 洋志（学長補佐） 森下英理子（学長補佐）	稲垣 美幸（准教授）	樋口 明弘（特任准教授） 太田 一陽（特任准教授） 工藤 信明（特任准教授） 長谷川恵理（特任助教）
社会共創推進グループ	坂本 二郎（学長補佐、 副機構長） 長谷川 浩（学長補佐）	安川 直樹（准教授）	津田 武明（特任教授） 高山 卓三（兼任、特任教授） 山田 秀尚（准教授） 石川 桃絵（特任助教） 石川 正行（特任助教） 宮ノ下智史（特任助教） 北 翔太（特任助教） 善田 浩輝（産官学連携 コーディネーター）
法務・知的財産戦略グループ		目片 強司（教授）	喜多 健太（助教） 野村 綾子（特任助教）
人材育成グループ	山岸 雅子（理事、 副機構長） 佐無田 光（学長補佐）	篠田 隆行（准教授）	木下 靖子（特任助教） 岸岡 智也（特任助教） 小林 秀輝（博士研究員）
国際連携推進グループ	米田 隆（学長補佐）		
総務・広報グループ		久保 亮（特任教授）	
個別プロジェクト支援			坂田 章吉（特任教授） 富澤 憲慈（特任教授） 長井 圭治（特任准教授） 松本 健（特任准教授） 角村 法久（特任助教） 見寺 祐子（特任助教）

#### インキュベーション施設

施設長 長谷川 浩（学長補佐）

#### VBL（ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー）

VBL長 長谷川 浩（学長補佐）

#### 社会共創推進室

室長 佐無田 光（学長補佐）

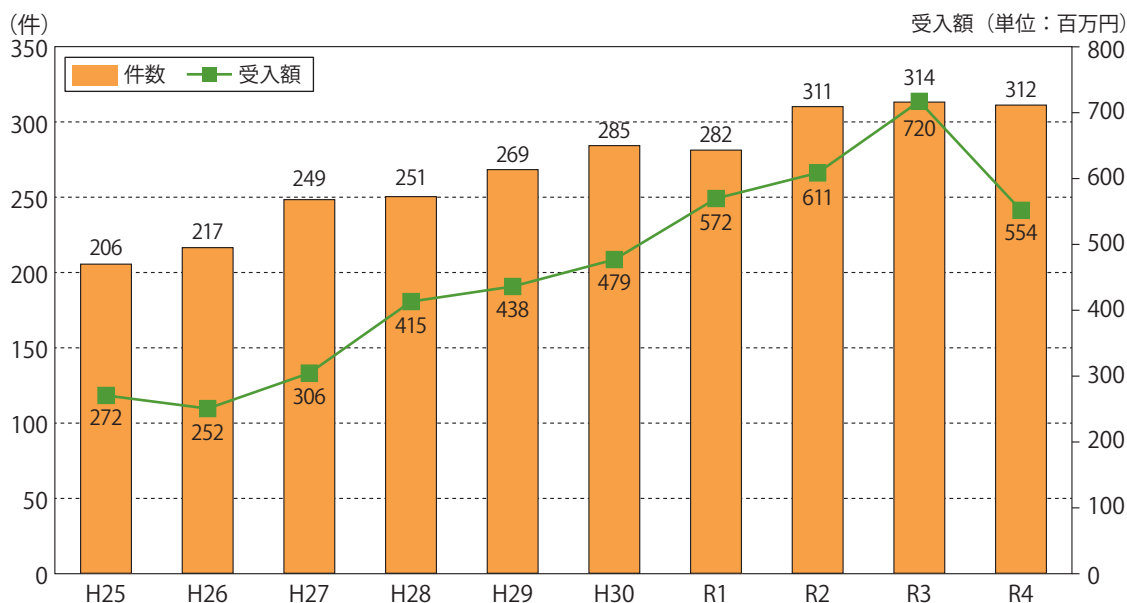
#### バイオマス・グリーンイノベーションセンター（BGIC）

センター長 中村 慎一（理事（研究・社会共創担当））

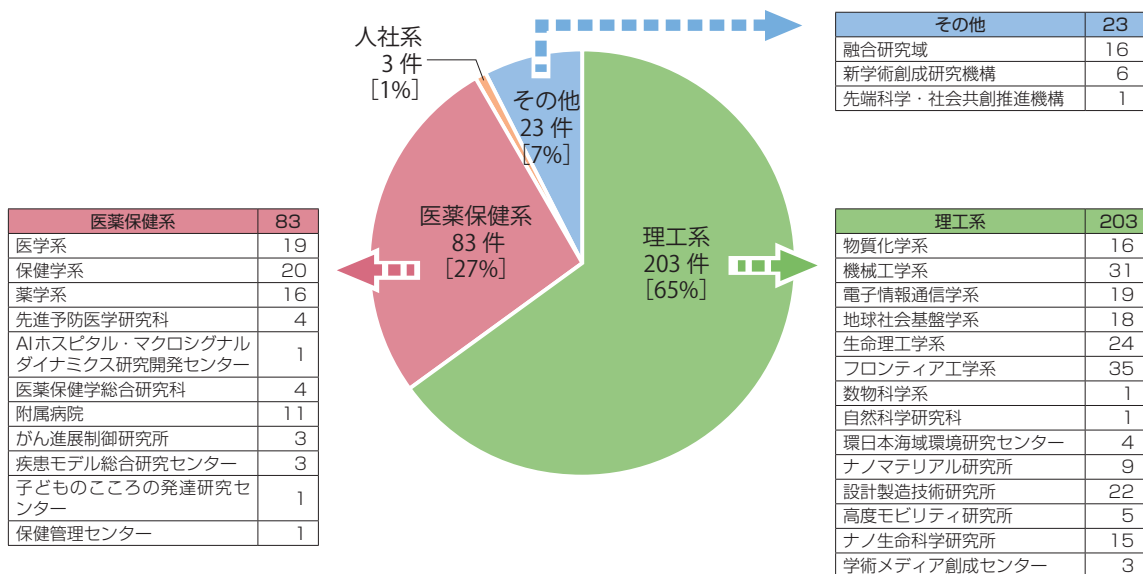
## 2. 共同研究について

民間企業との共同研究数はこの10年間に約1.5倍に増加しています。令和4年度は312件の実施があり、そのうちの65%が理工系、27%が医薬保健系でしたが、融合分野や人社系の教員との共同研究に対しても、関心が集まるようになっていきます。

### ■民間企業との共同研究件数・研究費受入額（年度別）



### ■令和4年度 民間企業との共同研究 分野別実施状況（312件）



## 共同研究実施件数及び研究費受入額における個別実績（令和3年度）

### 民間企業との共同研究実施件数

No.	機関名	件数
1	東京大学	1,945
2	東北大学	1,337
3	大阪大学	1,308
4	京都大学	1,276
5	慶應義塾大学	778
6	東京工業大学	729
7	九州大学	717
8	北海道大学	661
8	神戸大学	661
10	名古屋大学	633
11	早稲田大学	610
12	筑波大学	546
13	信州大学	482
14	広島大学	470
15	千葉大学	361
16	熊本大学	346
17	岐阜大学	345
18	東京農工大学	332
19	岡山大学	331
20	名古屋工業大学	329
21	金沢大学	314
22	東京理科大学	292
23	徳島大学	282
24	大阪府立大学	278
25	山形大学	271
26	三重大学	268
27	横浜国立大学	266
28	東京医科歯科大学	263
29	群馬大学	257
30	順天堂大学	228
30	静岡大学	228
30	長崎大学	228

### 民間企業との共同研究に伴う研究費受入額

(単位：千円)

No.	機関名	受入額
1	東京大学	15,086,258
2	大阪大学	8,777,611
3	東北大学	6,209,308
4	京都大学	5,950,037
5	名古屋大学	3,492,046
6	慶應義塾大学	3,311,023
7	東京工業大学	2,985,988
8	九州大学	2,210,043
9	北海道大学	2,023,274
10	順天堂大学	2,014,690
11	筑波大学	1,836,088
12	早稲田大学	1,498,649
13	広島大学	1,430,013
14	神戸大学	1,361,247
15	東京医科歯科大学	982,625
16	東京農工大学	885,868
17	千葉大学	800,780
18	金沢大学	720,007
19	名古屋工業大学	712,375
20	大阪市立大学	691,858
21	山形大学	678,581
22	信州大学	664,184
23	岐阜大学	655,884
24	熊本大学	623,212
25	徳島大学	621,348
26	東京理科大学	621,056
27	横浜国立大学	601,561
28	九州工業大学	600,614
29	弘前大学	535,486
30	岡山大学	531,008

※文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について（令和3年度実績）」（抜粋）  
 ※上位30機関

### 3. 令和4年度 共同研究一覧

下表は、令和4年度に実施した民間企業や官公庁との共同研究のうち、一部（137件）をご紹介します。共同研究を始める前の予備的検討として、「技術相談」を利用されることも効果的です。ご活用ください。また、本欄掲載以外の共同研究対応可能な教員につきましても、ご紹介させていただきますので、ご遠慮なくお問い合わせください（ワンストップサービス窓口、p.15）。

(公開分 137件) (各部局・系の50音順)

研究題目	受入部局	職	氏名
化粧品の価値創造に関する研究	融合研究域 融合科学系	教授	金間 大介
製造業における働きがいと労働生産性を両立させる新事業開発と実証研究	融合研究域 融合科学系	教授	金間 大介
高校・大学における主体的な学びと能力開発に関する研究	融合研究域 融合科学系	教授	金間 大介
地域観光DX構想の研究	融合研究域 融合科学系	教授	金間 大介
中能登町における持続可能な観光地域づくりに関する調査研究	融合研究域 融合科学系	准教授	川澄 厚志
カルフィルゾミブを投与した多発性骨髄腫での8カラーフローサイトメトリー（EuroFlow法）による骨髄腫微小残存病変検出法の確立と既存検査法との臨床的意義の比較	融合研究域 融合科学系	教授	高松 博幸
観光客のLTV向上にむけたデジタル/リアル行動データ分析	融合研究域 融合科学系	教授	堤 敦朗
次期金沢市地域コミュニティ活性化推進計画策定に関する研究	融合研究域 融合科学系	教授	眞鍋 知子
コロナ後における兼六園茶店の新たなサービス開発のための実現可能性調査	融合研究域 融合科学系	准教授	丸谷 耕太
小学生の交通事故削減に向けた研究	融合研究域 融合科学系	助教	森崎 裕磨
モデル学習機能の高精度化	融合研究域 融合科学系	教授	山本 茂
トイレのオールジェンダー利用に関する研究	人間社会学域・研究域 人文学系	准教授	岩本 健良
羽咋市の都市像に係るランドデザイン事業に関する研究	人間社会学域・研究域 経済学経営学系	教授	寒河江雅彦
「いしかわ・金沢 風と緑の音楽祭2022」の経済波及効果の算定に係る共研究	人間社会学域・研究域 経済学経営学系	教授	寒河江雅彦
石川中央都市圏の移住ニーズ等調査研究	人間社会学域・研究域 経済学経営学系	教授	寒河江雅彦
人口問題における石川中央都市圏の都市機能のあり方等調査研究	人間社会学域・研究域 経済学経営学系	教授	寒河江雅彦
公立小松大学の小松市への経済波及効果に関する共同研究	人間社会学域・研究域 経済学経営学系	教授	寒河江雅彦
共同研究講座「先導科学技術共同研究講座」	理工学域・研究域 物質化学系	特任教授	新井 隆
高断熱性能化のためのナノ中空ポリマー粒子の開発に関する研究	理工学域・研究域 物質化学系	准教授	太田 明雄
フィルム型有機薄膜太陽電池の耐久性および性能向上	理工学域・研究域 物質化学系	助教	中野 正浩
水性作動液等の開発に関する研究	理工学域・研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
鉛汚染土壌に対する溶出抑制剤の開発	理工学域・研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
6価クロム汚染廃棄物に対する抑制剤の開発	理工学域・研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

研究題目	受入部局	職	氏名
海藻場における鉄の動態の評価手法に関する技術開発	理工学域・研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
金属材料中の転位挙動と析出物の相互作用	理工学域・研究域 機械工学系	教授	下川 智嗣
環境親和性の高い次世代小型分散電源システムの開発	理工学域・研究域 機械工学系	准教授	辻口 拓也
ギ酸塩直接燃料電池に関する共同研究	理工学域・研究域 機械工学系	准教授	辻口 拓也
合成繊維の染色品質判定技術の研究	理工学域・研究域 機械工学系	准教授	若子 倫菜
Deep Learning 映像処理技術の研究	理工学域・研究域 電子情報通信学系	准教授	今村 幸祐
電磁波可視化システムに関する研究	理工学域・研究域 電子情報通信学系	教授	八木谷 聡
防波柵の柵高による波力変化の評価方法に関する研究	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	教授	榎田 真也
コンクリート構造物の耐衝撃性評価の体系化に関する研究	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	教授	栗橋 祐介
コンクリート構造物におけるCFRPによる補強工法	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	教授	栗橋 祐介
新新型落石防護擁壁の性能評価に関する研究	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	教授	栗橋 祐介
再生可能エネルギー熱利用にかかるコスト低減技術開発／高度化・低コスト化のための共通基盤技術開発／見かけ熱伝導率の推定の推定手法の開発, 設計に必要な地盤・帯水層データベースの規格化, オープンループシステムの設計ツールの開発	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	准教授	阪田 義隆
日本工営新社屋地中熱利用施設を利用した共同研究	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	准教授	阪田 義隆
橋梁の振動抑制に関する研究	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	教授	深田 宰史
防災IoTセンサを活用したインフラ構造物モニタリングシステムの研究開発	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	教授	深田 宰史
CIMを活用したインフラ構造物のモニタリングに関する研究	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	教授	深田 宰史
福井県道路施設の維持管理及びデータベースに関する研究 1	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	教授	深田 宰史
福井県道路施設の維持管理及びデータベースに関する研究 その2	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	教授	深田 宰史
繊維補強PFCのひび割れと変形性能に関する検討	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	助教	柳田 龍平
パイルド・ラフト基礎設計技術の開発	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	助教	熊 曺
鋼矢板の止水効果の検証、及び国内堤体補強設計指針のベトナムへの転用可能性の検証	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	助教	熊 曺
地盤災害の予測・軽減手法の開発に関する研究	理工学域・研究域 地球社会基盤学系	助教	熊 曺
Functional analysis of a non-coding RNA in the mammalian circadian clock system (和訳: 哺乳類概日時計系における非コードRNAの機能解析)	理工学域・研究域 生命理工学系	助教	瓜生耕一郎
越後白雪茸中の有効成分分画法の確立	理工学域・研究域 生命理工学系	准教授	坂本 敏夫
耐火石を用いた改質水の植物への影響評価	理工学域・研究域 生命理工学系	准教授	坂本 敏夫
オーガニック養殖技術を用いた水産物の開発・事業化研究	理工学域・研究域 生命理工学系	教授	松原 創
オーガニック養殖技術を用いた水産物の調理について	理工学域・研究域 生命理工学系	教授	松原 創
交雑種の種苗生産に関する研究	理工学域・研究域 生命理工学系	教授	松原 創
FMCW-LiDARの研究	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	飯山 宏一

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。



研究題目	受入部局	職	氏名
FMCW光距離計測の精度と各種パラメータの影響検証	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	飯山 宏一
心弾動センシングシートの検出精度向上に関する研究	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	小松崎俊彦
中高齢者の身体機能の維持・改善	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	小松崎俊彦
ゴルフクラブとゴルフボールの衝突に関する研究	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	小松崎俊彦
中低域を対象としたキャブ内空間振動騒音キャンセリング技術	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	小松崎俊彦
音響メタマテリアルを用いた音波偏向デバイスに関する共同研究	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	小松崎俊彦
磁気粘性コンパウンドに関する共同研究	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	小松崎俊彦
配電工事の効率化に資する工法改善の研究（ロボット開発）	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	関 啓明
フォークリフト荷役状態検知システムの研究	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	関 啓明
二軸混練機における流動に関するデータ解析	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	瀧 健太郎
押出機の流動と押出プロセスの新しいセンシング、分析技術に関する共同研究	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	瀧 健太郎
厚膜系におけるUV硬化挙動の解析	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	瀧 健太郎
発泡現象のメカニズムの解明に関する研究	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	瀧 健太郎
プラスチックの成形技術に関する研究	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	瀧 健太郎
安全・安心なパーソナル空間の構築	理工学域・研究域 フロンティア工学系	准教授	滝口 昇
脳由来神経栄養因子の活性化を導く低周波電気刺激の周波数帯の解明とその臨床応用	理工学域・研究域 フロンティア工学系	助教	西川 裕一
マイクロプラスチック生成の機構・速度の解明	理工学域・研究域 フロンティア工学系	准教授	比江嶋祐介
物体ハンドリング技術に関する研究	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	渡邊 哲陽
変種変様な多能作業を可能にするセンシング技術搭載エンドエフェクタに関わるエンドエフェクタ開発の体系化	理工学域・研究域 フロンティア工学系	教授	渡邊 哲陽
乳幼児の発達における睡眠の質に関する研究	医薬保健学域・研究域 医学系	教授	菊知 充
非アルコール性脂肪肝を合併した2型糖尿病患者に対するSGLT-2阻害薬とSU薬の有効性に関する研究～作用機序の解明～	医薬保健学域・研究域 医学系	教授	篁 俊成
非アルコール性脂肪肝を合併した2型糖尿病患者に対するSGLT-2阻害薬とSU薬の有効性に関する研究	医薬保健学域・研究域 医学系	教授	篁 俊成
前立腺がん患者のホルモン療法に伴う更年期様症状（のぼせ）に対するTJ-25桂枝茯苓丸の有効性及び安全性に関する探索的研究	医薬保健学域・研究域 医学系	教授	溝上 敦
エルゴチオネイン含有きのこ摂取の影響に関する研究	医薬保健学域・研究域 薬学系	教授	加藤 将夫
薬物動態に関する研究	医薬保健学域・研究域 薬学系	教授	加藤 将夫
エルゴチオネインのヒト体内動態シミュレーション及び生体作用機序に関する研究	医薬保健学域・研究域 薬学系	教授	加藤 将夫
生理学的薬物速度論モデルを用いたヒト薬物動態の解析に関する研究	医薬保健学域・研究域 薬学系	教授	加藤 将夫
核酸の機能性研究	医薬保健学域・研究域 薬学系	教授	加藤 将夫
タモギタケのエキス末を用いたエルゴチオネインの機能性研究	医薬保健学域・研究域 薬学系	教授	加藤 将夫

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

研究題目	受入部局	職	氏名
抗体医薬品候補の体内動態シミュレーション解析	医薬保健学域・研究域 薬学系	教授	加藤 将夫
エルゴチオネインの生体作用機序に関する研究	医薬保健学域・研究域 薬学系	教授	加藤 将夫
近位尿管上皮細胞を用いた新規in vitro評価系の構築	医薬保健学域・研究域 薬学系	教授	玉井 郁巳
ヒト血液脳関門薬物トランスポーターに関する研究	医薬保健学域・研究域 薬学系	教授	玉井 郁巳
DotinuradのURAT1 選択的作用の要因解明	医薬保健学域・研究域 薬学系	教授	玉井 郁巳
地域包括ケアと看取りに関する研究	医薬保健学域・研究域 保健学系	助教	板谷 智也
OSL 線量計を用いた出力線量評価技術の実用化に向けた研究開発	医薬保健学域・研究域 保健学系	准教授	林 裕晃
フォトンカウンティング型画像検出器の高精細画像の生成を目指した全ピクセルを対象とした画像処理手法の開発	医薬保健学域・研究域 保健学系	准教授	林 裕晃
ビスマス粒子を含有するポリウレタンフォーム型X線遮蔽体の開発	医薬保健学域・研究域 保健学系	准教授	林 裕晃
臨床応用に向けたフォトンカウンティング型X線画像検出器の基礎研究	医薬保健学域・研究域 保健学系	准教授	林 裕晃
柔軟性かつ通気性を持つビスマス粒子混合型X線遮蔽体の開発	医薬保健学域・研究域 保健学系	准教授	林 裕晃
座骨や仙骨等骨盤の撮像に関する研究	医薬保健学域・研究域 保健学系	教授	宮地 利明
抗リン脂質抗体症候群（APS）に対する新薬創成等を目的とした共同研究	医薬保健学域・研究域 保健学系	教授	森下英理子
リコンビナントATを用いたAT異常症の検出に適したパラメーター案の検討	医薬保健学域・研究域 保健学系	教授	森下英理子
血漿可溶性C-type lectin-like receptor 2 (sCLEC2) の臨床的有用性の検討	医薬保健学域・研究域 保健学系	教授	森下英理子
高感度微量トロンビン形成試験キットの臨床的有用性の検討	医薬保健学域・研究域 保健学系	教授	森下英理子
先天性アンチトロンビン欠乏症のヘパリン結合能の測定法の検討	医薬保健学域・研究域 保健学系	教授	森下英理子
プロテインS活性測定に影響する要因の検討	医薬保健学域・研究域 保健学系	教授	森下英理子
肺癌患者の血中遊離循環DNA (cfDNA) を用いた高感度次世代シーケンサーの開発	医薬保健学域・研究域 医薬保健学総合研究科	特任助教	木場 隼人
共同研究講座「社会薬物学共同研究講座」	医薬保健学域・研究域 医薬保健学総合研究科	特任教授	堀川 尚嗣
胸部X線動態解析を用いた新規呼吸機能評価についての臨床研究	附属病院	助教	大倉 徳幸
原発性アルドステロン症患者における副腎静脈サンプリング時の検体を用いた新型迅速コルチゾール測定キット（QCA）の臨床性能試験	附属病院	准教授	米谷 充弘
細胞染色と細胞動態に関する研究	ナノ生命科学研究所	准教授	新井 敏
ヒト加水分解酵素が触媒する反応に関する研究	ナノ生命科学研究所	教授	中島 美紀
人工エクソソームに関する研究	ナノ生命科学研究所	教授	華山 力成
中枢由来エクソソームの単離技術の開発	ナノ生命科学研究所	教授	華山 力成
細胞外小胞のポピュレーション研究及び機能解析	ナノ生命科学研究所	教授	華山 力成
セルロースの高機能化	ナノ生命科学研究所	教授	前田 勝浩

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

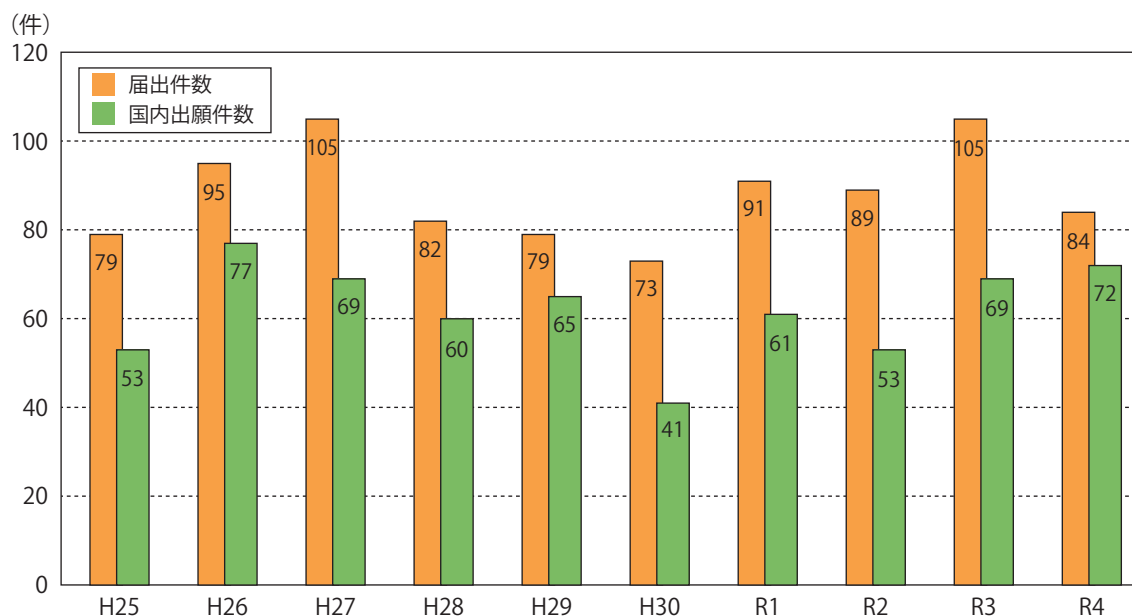
研究題目	受入部局	職	氏名
近赤外吸収色素の開発	ナノマテリアル研究所	准教授	古山 滙行
光学材料向け近赤外線吸収剤の研究開発	ナノマテリアル研究所	准教授	古山 滙行
塗装自動ティーチング	設計製造技術研究所	教授	浅川 直紀
組紐技術を用いた再生炭素繊維複合材料に関する研究	設計製造技術研究所	教授	喜成 年泰
TAFNEX (PP/CF UD テープ) を用いた組紐成形の開発検討	設計製造技術研究所	教授	喜成 年泰
合成繊維紡糸設備内の空気流解析	設計製造技術研究所	教授	喜成 年泰
ワイヤーク積層造形技術に関する共同研究	設計製造技術研究所	助教	山口 貢
超小型プラズマ波動受信器の信号処理FPGAモジュールの基礎開発	学術メディア創成センター	教授	笠原 禎也
メタバースを利用した新しい形の教育効果の実証研究	学術メディア創成センター	教授	西山 宣昭
海洋深層水に含まれる微量有機物質の利活用	環日本海域環境研究センター	教授	鈴木 信雄
アクアポニックスを目指したバナメイエビ及び魚類の養殖に関する研究	環日本海域環境研究センター	教授	鈴木 信雄
海洋動物のプラスティネーション標本の技術開発と利用	環日本海域環境研究センター	教授	鈴木 信雄
微弱放射能測定のための試薬開発と遮蔽体材料開発および環境試料測定	環日本海域環境研究センター	教授	長尾 誠也
資源循環型社会の構築に向けたイノシシ骨炭粉の農業利用に関する共同研究	環日本海域環境研究センター	准教授	西川 潮
海洋深層水に含まれる機能性成分の探索	疾患モデル総合研究センター	准教授	西内 巧
発酵物、並びに発酵物給与動物の機能因子の解析	疾患モデル総合研究センター	准教授	西内 巧
天然植物活力液HB-101の作用機構の解析	疾患モデル総合研究センター	准教授	西内 巧
自閉症モデルマウスに対するアンセリン・カルノシン投与試験	子どものこころの発達研究センター	教授	横山 茂
定量的マルチモダリティ SPECT・CTの心臓核医学への適応	医薬保健学域・研究域 先進予防医学研究科	特任教授	中嶋 憲一
MIBG指標を加味した慢性心不全における心イベント予測モデルの作成と検証	医薬保健学域・研究域 先進予防医学研究科	特任教授	中嶋 憲一
心臓専用半導体ガンマカメラD-SPECTの臨床応用の探究	医薬保健学域・研究域 先進予防医学研究科	特任教授	中嶋 憲一
脳核医学検査における超高分解能SPECT・CT装置による絶対定量に関する研究	医薬保健学域・研究域 先進予防医学研究科	特任教授	中嶋 憲一
High Resolution SPECT for CAD and heart failure imaging (II) (和訳：定量的マルチモダリティ SPECT・CTの心臓核医学への応用(2))	医薬保健学域・研究域 先進予防医学研究科	特任教授	中嶋 憲一
心拍変動解析による心身の状態把握に関する研究	健康管理センター	教授	吉川 弘明
焼却廃熱による焼却炉排ガスからのCO2濃縮に関する研究	新学術創成研究機構	教授	児玉 昭雄
二酸化炭素吸着装置に関する研究	新学術創成研究機構	教授	児玉 昭雄
ガス機器排ガスからのCO2分離・回収システムの高性能化検討に係る共同研究	新学術創成研究機構	教授	児玉 昭雄
課題解決のための組織横断的プロジェクト構築に向けた調査研究	先端科学・社会共創推進機構	准教授	篠田 隆行

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

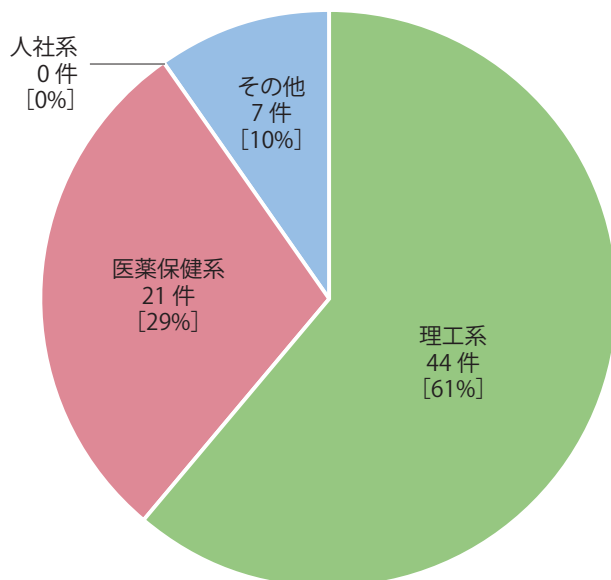
## 4. 特許出願について

国内特許出願の件数は、この10年間、概ね年間60件前後で推移しています。大学からの出願を行わずに、共同研究先の企業に有償譲渡するケースもあります。

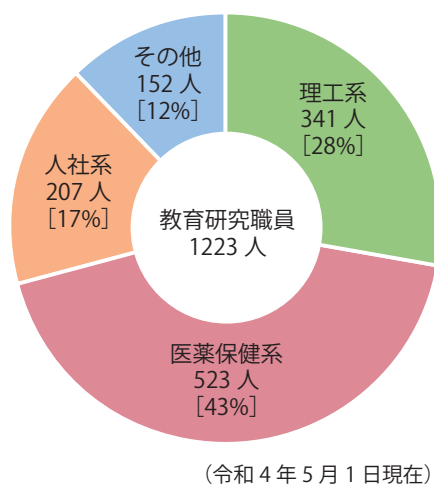
### ■ 発明届出・特許出願件数（年度別）



### ■ 令和4年度 特許出願 分野別内訳（72件）



### ■ 教育研究職員 分野別割合



## 5. 令和4年度 公開特許出願一覧

下表は、令和4年度（2022年4月1日～2023年3月31日）に公開された特許出願で、共同出願も含まれます。出願内容は特許庁のJ-PlatPat（特許情報プラットフォーム）から見る事が出来ます。

発明の名称	公開番号
聴覚特性計測方法、プログラム、及び聴覚特性計測システム	特開2022-052754
うつ症状の予防、治療及び／又は緩和用組成物並びに運動量増加組成物	特開2022-053441
膠芽腫マーカー及びその使用	特開2022-060333
1-メチルニコチンアミドの測定方法及びニコチンアミド-N-メチル基転移酵素阻害剤のスクリーニング方法	特開2022-065544
金属部材の評価方法	特開2022-070044
RB1 陽性癌の治療用医薬組成物及びキット	特開2022-071454
薬物代謝酵素活性を測定するための放射性フッ素標識画像診断薬	特開2022-072154
HiBiT を利用したB型肝炎ウイルス複製モニタリングシステム	特開2022-072093
振動抑制装置、旋削装置、および振動抑制方法	特開2022-082377
X線回折測定装置	特開2022-081823
混合物の製造装置および混合物の製造方法	特開2022-084441
数値シミュレーション装置、数値シミュレーション方法および数値シミュレーションプログラム	特開2022-085619
認知機能検査システム	特開2022-088237
認知能力解析装置、認知能力解析方法、及びプログラム	特開2022-091339
セルロースナノファイバー組成物及びその製造方法	特開2022-102007
胆管腔形成の誘導方法	特開2022-103781
抗がん剤	特開2022-104746
置換ポリアセチレン類の製造に使用するための新規精密重合触媒	特開2022-106267
ダイヤモンド製膜用下地基板及びそれを用いたダイヤモンド基板の製造方法	特開2022-109306
固体組成物、液体組成物、及び固体組成物の製造方法	特開2022-108914
燃料電池システム	特開2022-111435
燃料電池システム	特開2022-111434
がん幹細胞様細胞の分画方法	特開2022-115448
有機アニオントランスポーターの機能を測定するための検査薬	特開2022-115260
結晶性材料の評価方法	特開2022-123909
置換ポリ（ジフェニルアセチレン）類の製造方法	特開2022-132090
MRP3 標的遺伝子改変T細胞	特開2022-132969
自発的報酬獲得システム、自発的報酬獲得方法、及びプログラム	特開2022-138993
娯楽の生産性向上システム、及び娯楽的生産性向上方法	特開2022-138992
スルフィド化合物およびその塩	特開2022-148371
アレルギー抑制剤及び脱顆粒抑制剤	特開2022-156430
X線回折測定装置及びX線回折測定ロボット	特開2022-161735
シート材の製造方法及びそのシート材	特開2022-167344
熱振動発電デバイス、発電方法及び熱振動発電システム	特開2022-169492
ダイヤモンド基板	特開2022-171727

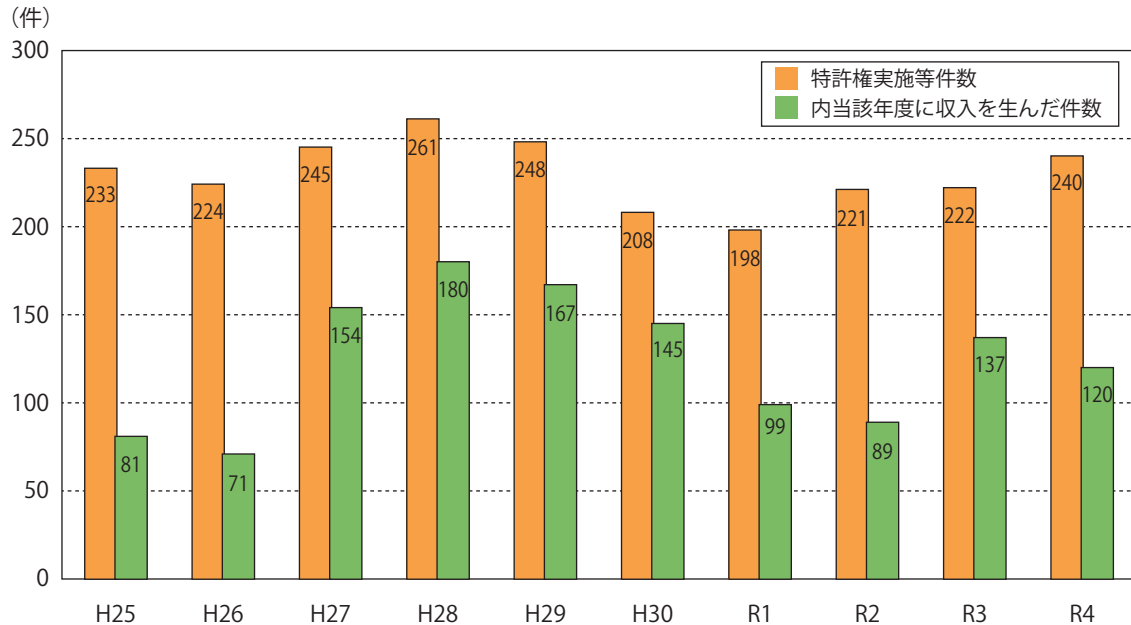
発明の名称	公開番号
骨腫瘍の予後診断方法又は予後診断補助方法	特開2022-171011
金属固定材	特開2022-172845
プログラム、情報処理装置及び情報処理方法	特開2022-174614
加工装置、加工方法	特開2022-175752
疲労試験方法、疲労試験装置及び疲労解析プログラム	特開2022-175063
CYP24A1 結合核酸分子及びその用途	特開2022-176873
血糖降下組成物、及びそれを含有する血糖降下薬剤	特開2022-177648
金属疲労評価装置、該方法および該プログラム	特開2022-179012
音波偏向デバイスおよび音波偏向システム	特開2022-182668
蛍光プローブ、液相の極性及び粘性を評価する方法、並びに化合物	特開2022-185420
微粒子吸着材及び微粒子除去方法	特開2022-186588
検出方法及びプログラム	特開2022-186079
微粒子吸着材及び微粒子除去方法	特開2022-185843
磁歪発電素子	特開2022-190403
抗体誘導性ポリペプチド及びワクチン	特開2023-004912
発汗分布計測装置、発汗分布計測方法	特開2023-009989
両面研磨における定盤トルクの測定方法及びそれを用いた両面研磨機	特開2023-011434
有機薄膜太陽電池の製造方法及び有機薄膜太陽電池	特開2023-017360
振動発電装置及び移動体	特開2023-018466
燃料電池	特開2023-021605
3次元マップ生成方法及び3次元マップ生成装置	特開2023-035687
腸の炎症改善用成分、及びそれを含む腸の炎症改善用製剤	特開2023-034913
親水化処理方法及び燃料電池システム	特開2023-039633
内視鏡下手術手ブレ抑止矯正機器、及び内視鏡下手術手ブレ抑止矯正システム	特開2023-041404
腫瘍治療用医薬組成物	特開2023-043944

(公開順 60件)

## 6. 特許実施許諾について

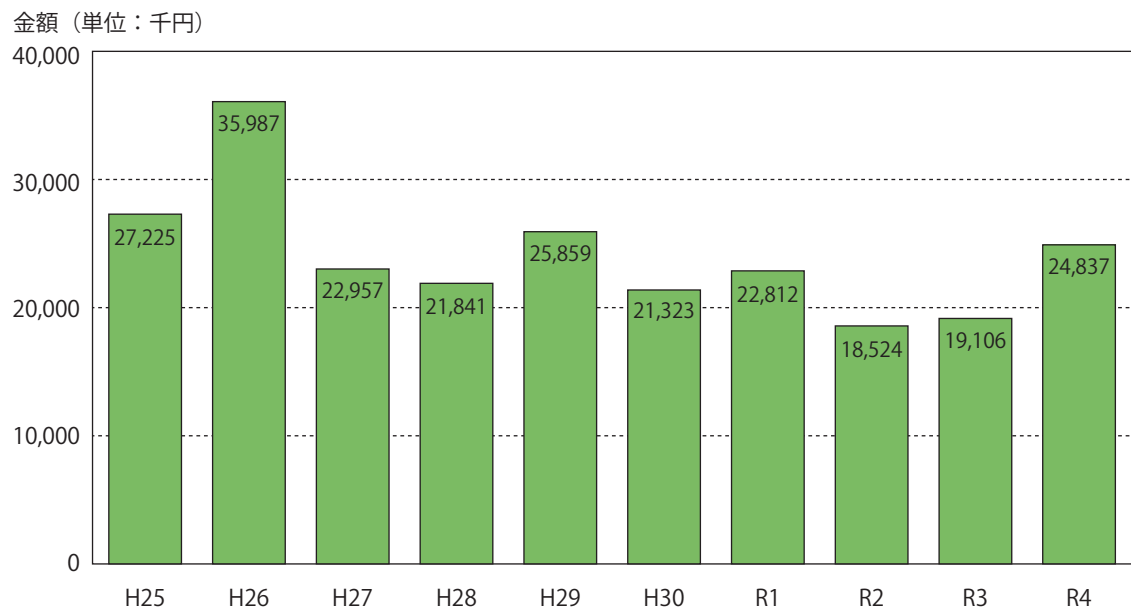
学外の技術移転会社金沢大学ティ・エル・オー（KUTLO、p.15）と連携しながら、技術移転活動を推進しています。

### ■ 特許権実施等件数（外国分含む）（年度別）



※特許権実施等件数とは、各年度で有効な実施許諾又はその年度に譲渡した特許権（「受ける権利」の段階のものも含む）の件数を指す。（契約に含まれる国内、国外特許の総数）

### ■ 特許権実施等収入額（外国分含む）（年度別）



## ■ 特許権実施等件数及び収入における個別実績（令和3年度）

## ■ 特許権実施等件数（外国分を含む）

No.	機関名	件数
1	東京大学	4,212
2	京都大学	2,165
3	大阪大学	1,359
4	北海道大学	1,250
5	東京工業大学	869
6	東北大学	867
7	名古屋大学	688
8	九州大学	654
9	関東学院大学	640
10	慶應義塾大学	555
11	筑波大学	458
12	千葉大学	451
13	広島大学	362
14	信州大学	296
15	東京医科歯科大学	276
16	神戸大学	247
17	岡山大学	237
18	早稲田大学	233
19	富山大学	228
20	金沢大学	222
21	東京理科大学	212
22	熊本大学	198
23	札幌医科大学	192
24	九州工業大学	190
25	鹿児島大学	181
26	同志社大学	174
27	鳥取大学	169
28	三重大学	167
29	日本大学	166
30	山形大学	162

※特許権実施等件数とは、実施許諾又は譲渡した特許権（「受ける権利」の段階のものも含む）の数を指す。（契約に含まれる国内、国外特許の総数）

※文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について（令和3年度実績）」（抜粋）  
 ※上位30機関

## ■ 特許権実施等収入（外国分を含む）

(単位：千円)

No.	機関名	収入額
1	京都大学	888,769
2	東京大学	557,703
3	大阪大学	414,526
4	東北大学	288,363
5	九州大学	160,137
6	北海道大学	146,873
7	神戸大学	117,179
8	名古屋大学	85,753
9	東京医科歯科大学	74,575
10	慶應義塾大学	74,131
11	日本大学	50,528
12	北里大学	47,578
13	東京工業大学	45,596
14	広島大学	44,418
15	名古屋市立大学	38,831
16	同志社大学	35,259
17	信州大学	34,736
18	徳島大学	32,311
19	山梨大学	28,912
20	札幌医科大学	28,223
21	山口大学	28,036
22	筑波大学	27,835
23	近畿大学	26,794
24	横浜市立大学	25,613
25	自然科学研究機構	24,882
26	早稲田大学	23,673
27	名古屋工業大学	23,496
28	千葉工業大学	22,544
29	高知大学	22,439
30	岡山大学	21,802

※特許権実施等収入額とは、実施許諾又は譲渡した特許権（「受ける権利」の段階のものも含む）の収入額を指す。



## 7. ご案内

金沢大学は「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」として、地域産業界との連携を通して、イノベーションに貢献します。企業様の抱える技術的課題に関するご相談や共同研究に関するご相談を随時受け付けております。

### ワンストップサービス窓口、技術相談について

企業様からの、技術相談、学術コンサルティング、共同研究、受託研究など、様々なご相談を当窓口で、随時受け付けております。URA（リサーチ・アドミニストレーター、p.1～2）がお話を伺い、学内の最適な連携の方法、研究者をご紹介いたします。

ワンストップサービス窓口

<https://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/contact/>



### ワンストップサービス窓口のご利用、及び、技術相談の流れ

原則として無料の事前相談を1回実施の上で、1～2時間程度の技術相談を1～2回実施します。

#### 事前相談（無料）

URAが企業様の抱えている課題について伺います。その内容に応じて、学内で最適な研究者を探し、研究者を交えた技術相談を設定します。

#### 技術相談（相談実費をご負担いただく場合があります）

研究者とURAが参加して、企業様の技術的課題を整理し、技術課題に対する対応策について議論・アドバイスをします。内容によっては、学術コンサルティング制度（p.16）や共同研究（p.17）のご案内も致します。

### 金沢大学の研究シーズと特許技術の活用について

#### 研究シーズデータベース

金沢大学の人文系・理工系・医薬系の全領域の研究シーズをフリーワードで検索できるデータベースを公開しています。ご利用ください。



「金沢大学 研究分野別シーズ集」は、本学で行われている研究活動幅広く社会に公開するものです。

キーワード検索

キーワード:  ※ AND検索  OR検索

検索対象:  研究課題  特許研究発表テーマ  産学連携の産学名産  特許権取得テーマ  産学連携・技術移転事業の産学テーマ  その他

- キーワード検索について
- 複数のキーワードを入力して検索する場合は、キーワード間にスペースを入れてください。
- AND検索: 全てのキーワードを含む
- OR検索: いずれかのキーワードを含む
- 検索対象を指定すると、指定した項目の中で、キーワード検索を行います。



<http://ridb.kanazawa-u.ac.jp/seeds/>

金沢大学 シーズ データベース

検索

#### 特許技術の活用のご相談（KUTLO）

金沢大学で創出された特許の活用について、金沢大学ティ・エル・オー（KUTLO）がお手伝いします。上記技術相談と合わせて、お気軽にご相談ください。



（例：金沢大学特許で開発された空間磁界可視化システム）

KUTLO 金沢大学TLO

<http://kutlo.co.jp/>  
[info@kutlo.co.jp](mailto:info@kutlo.co.jp)

### 金沢大学産学連携協力会会員企業様向け支援について

金沢大学では、「金沢大学産学連携協力会」の会員企業様向けに、技術相談に対する支援を行っております。

これは、技術相談に係る相談実費の一部を協力会が負担するもので、会員企業様には大変お得な制度です。詳細はp.21をご覧ください。

#### ■協力会に関するお問い合わせ先

金沢大学産学連携協力会

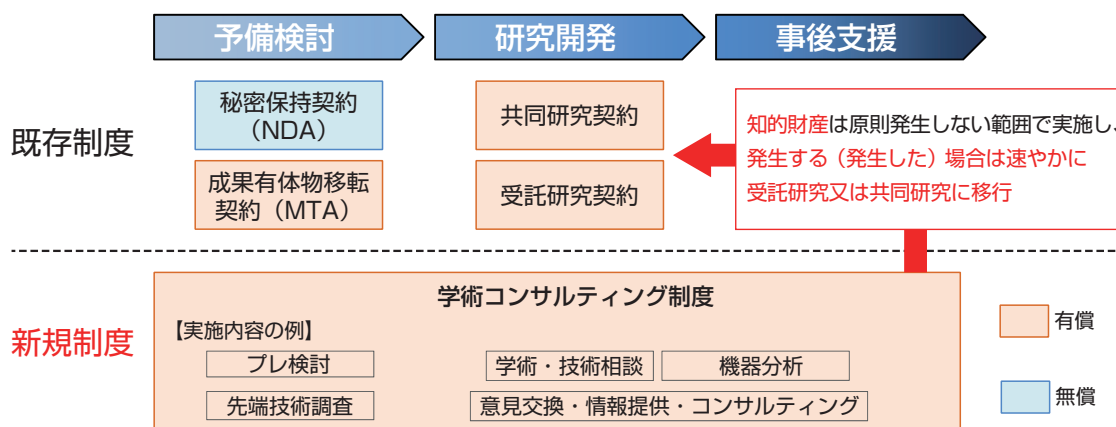
〒920-1192 石川県金沢市角間町

Tel : 076-264-6109 Fax : 076-234-4019

E-Mail : [kyouryokukai@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:kyouryokukai@adm.kanazawa-u.ac.jp)

## 学術コンサルティング制度について

金沢大学では、2021年4月に学術コンサルティング制度を新設しました。本制度は、企業様からの委託を受けて、金沢大学の教職員等が専門的知識に基づき、委託企業様の学術上の課題解決等について助言等を行うものです。本制度は、受託研究、共同研究、兼業等といった既存の制度に当てはまらない産官学連携業務に対し、実態にあった契約ができる新たな制度の設置を目的としています。



### 1. 学術コンサルティングに必要な経費

直接経費
指導料：2万円（税別）以上／時間（1時間単位） ※実施者が使用する少額の消耗品費や軽微な必要経費を含む 指導料の他、別途必要となる経費：旅費、機器利用・管理料、協力者の人件費など
間接経費
直接経費の30%（外国企業様が委託者の場合は40%）

### 2. 申込みと契約手続き

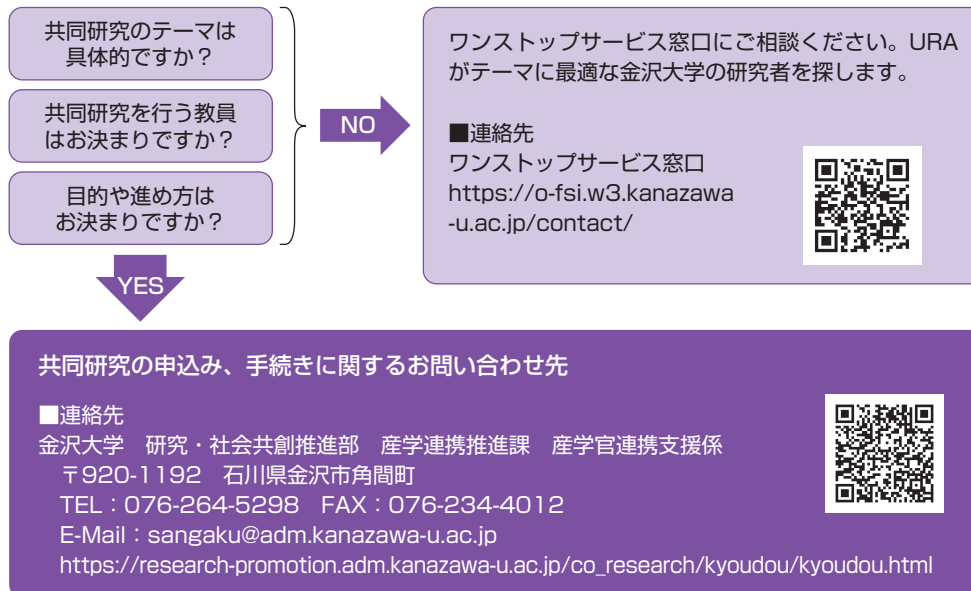
学術コンサルティングを実施する教員（担当教員）と、内容や学術コンサルティング料について事前打合せをお願いします。内容等が決まりましたら、「学術コンサルティング申込書兼受諾書」を担当教員（複数いる場合は代表教員）の所属する部局の事務部担当係へご提出ください。なお、期間に最短の制限はなく、最長3年（変更契約後の期間も含む）としています。



契約金額（間接経費、税込）	契約形態
100万円未満	原則、約款による契約（ <b>契約内容の修正不可</b> ）
100万円以上、300万円未満	約款による契約、または <b>契約内容の協議及び契約書の締結可</b>
300万円以上	<b>共同研究又は受託研究での契約を検討</b> ※やむを得ず学術コンサルティング制度を用いる場合は <b>契約書の締結</b> とする

## 共同研究について

企業様等の研究者と本学の教員とが共通の研究課題について、対等の立場で共同して研究を行う制度です。共同研究を行う上で、テーマ・担当教員・進め方等が具体的にお決まりでない場合は、先端科学・社会共創推進機構にご相談ください。URA（リサーチ・アドミニストレーター）が、最適な研究者を探します。



### 1. 共同研究の形態

企業様等から研究者を受け入れて、基本的に本学において研究を行うタイプの『派遣型』、本学の教員と企業様等の研究者が、共通の研究課題について研究を分担し、それぞれの施設において研究を進めるタイプの『分担型』があります。

### 2. 共同研究に必要な経費

次の経費をご負担いただけます。

#### ①直接経費

共同研究遂行のために必要となる人件費、謝金、旅費、消耗品費、備品購入費等の直接的な経費です。

#### ②間接経費（直接経費の20%、組織対応型の場合は30%、外国企業様の場合は別途経費を加算）

当該研究遂行に関連し、直接経費以外に必要な光熱水費及び管理的経費です。

#### ③共同研究員研究料（1人につき、6ヶ月ごとに20万円（税別））

企業様等からの研究者の受け入れに係る経費です（本学に研究者を派遣する場合のみ必要となります）。

### 3. 知的財産権の取り扱い

原則として、企業様等と本学の発明完成への貢献度を踏まえて持分を決定します。共同研究の結果発生した知的財産権について、共同研究先の企業様等は、本学に、当該知的財産権の出願時に優先的に譲渡又は実施権（独占的実施権、非独占実施権）の許諾を求めることができます。

### 4. 本学への申込時期

随時可能です。

### 5. 研究期間

複数年にわたって契約することも可能です。

## 包括連携協定について

金沢大学では、個別の研究課題に限った企業様との交流だけではなく、「組織 対 組織」で幅広く交流して、ともに課題解決を図る産学連携包括連携協定による企業様との交流も進めています。

### 産学連携包括連携協定締結先一覧

企業・機関名	協定締結日
株式会社小松製作所	平成17年11月9日
澁谷工業株式会社	平成20年5月12日
北陸電力株式会社	平成24年2月10日
株式会社PFU	平成27年2月18日
株式会社日本政策金融公庫 金沢支店	平成29年1月31日
トヨタ紡織株式会社	平成30年3月1日
株式会社ダイセル	平成30年7月30日
日本高速道路株式会社金沢支社	平成31年2月28日
中小企業基盤整備機構北陸本部	令和3年3月17日
株式会社アクトリー	令和3年4月23日



株式会社アクトリー様との協定締結式

### 産学連携包括連携の取り組みとメリット

#### 【主な取り組み内容例】

- ①技術相談等を通じた研究開発上の意見交換・指導助言
- ②共同研究や受託研究による研究開発
- ③技術教育とそれにかかる講師派遣等の人的な交流
- ④インターンシップの受け入れ、企業様情報の提供等学生に関する支援・協力  
年2回程度、相互の役員や部局長も参加する連携推進会議を開催

#### 【包括連携のメリット】

- ①個々の研究室レベルではなく、役員・部局長をトップに据えた「組織 対 組織」の関係へ
- ②URA（リサーチ・アドミニストレーター）や本部事務局を交えたニーズ・シーズマッチング
- ③人文系や医薬系も含めた総合大学としての強みの活用

### 産学連携包括連携の成果の一例

北陸電力：「補助型ロボット（アシストアーム）の研究」の実用化



電力会社の配電工事現場（高所作業車）での補助員の省力化と効率化の課題

- ①URAを介して、企業様のニーズを聞き取り、ロボット工学の研究シーズとマッチング
- ②企業様の現場と機械工学系の研究室とで共同研究に着手
- ③特許の共同出願を通して、試作機を作成。実用化へ

## 金沢大学認定ベンチャー制度について

令和3年度に「金沢大学認定ベンチャー」制度を開始しました。金沢大学の研究成果や知的財産権を活用して起業した法人（準備中の方を含む）に対して、円滑な事業実施のため支援し、研究成果の社会実装と本学の研究の進展をはかります。認定を受けると、ロゴマークの使用のほか、本学が協定を有する公的機関や金融機関への紹介や経営指導・助言などの支援を受けることができます。

### 「金沢大学認定ベンチャー」の要件

本学の研究成果を活用して起業した法人のうち、次の各号すべてに該当するもの。申請の日から1年以内に、次の各号すべてに該当する予定がある場合も申請できます。

- (1) 本学の役職員又は学生（在職又は在学していた者を含む。）が、本学において習得した技術、知識等を利用して設立した法人。
- (2) 本学から知的財産権の実施許諾を受けている法人。
- (3) 会社法により設立された法人。



金沢大学認定ベンチャーロゴマーク



第一回 称号授与式（令和3年9月29日）

### 金沢大学認定ベンチャー 一覧（令和3年10月1日現在）

(1) 株式会社キュービクス 創業：2004年創業。石川県白山市 事業：マイクロアレイを用いた遺伝子発現解析サービス、など。 <a href="https://www.kubix.co.jp/">https://www.kubix.co.jp/</a>
(2) 株式会社バイオセラピー開発研究センター 創業：2006年創業。石川県金沢市 事業：バイオテクノロジーに基づく食品・医薬品素材の研究開発、など。 <a href="http://www.biotherapy.co.jp/">http://www.biotherapy.co.jp/</a>
(3) Ostics株式会社 創業：2019年創業。石川県金沢市 事業：骨密度検査に関わる業務、など。
(4) 株式会社Kanazawa Diamond 創業：2020年12月創業。石川県金沢市 事業：ダイヤモンドの製造、加工及び販売、など。 <a href="https://kanazawadiamond.co.jp/">https://kanazawadiamond.co.jp/</a>

## 北陸未来共創フォーラムについて



新しい発見、新しい結合、新しい価値。

### 北陸未来共創フォーラム

産学官金プラットフォーム for Innovation challenge

「北陸未来共創フォーラム」は、地方創生に向けて、北陸経済連合会と北陸国立4大学が中心となって、多種多様な北陸のプレーヤーが出会い、交流するために結成した会員登録型の「産学官金プラットフォーム」です。本フォーラムでは、産業分野・人材育成などをテーマにした分科会を設置し、さまざまな情報共有や意見交換などに参画できる場を設けます。北陸発のイノベーション創出に向けて、多数の企業・団体様、事業主様、自治体・公設機関様、教育研究機関様のご参画を、心よりお待ちしております。

<b>未来ビジョンⅠ</b>	<b>経済・産業活性化</b>	<b>マテリアル分科会</b>	先進的マテリアルや、カーボンニュートラル技術開発に基づいた産業創出・育成に挑戦します！ワーキンググループでは、高度な情報科学を駆使した五感などの生体機能に係わるデバイス開発やアルミニウムなどの軽金属材料のリサイクルシステムの確立などについて取り組みます。
		<b>先端エレクトロニクス分科会</b>	最新のエレクトロニクス技術の利用・応用に基づいた産業創出・育成に挑戦します！ワーキンググループでは、セキュア電磁エネルギーの利用・応用や、センシング技術の開発・実装などについて取り組みます。
		<b>ヘルスケア分科会</b>	未病ケアや健康増進等を含む次世代ヘルスケア産業の創出・育成に挑戦します！ワーキンググループでは、医療・健康機器の開発・事業化や、先進医療に貢献できる機能性材料などの研究開発などについて取り組みます。
		<b>次世代農林水産分科会</b>	ICT・工学分野との融合による農林水産イノベーションに基づいた産業創出・育成に挑戦します！ワーキンググループでは、農業・林業のスマート化に向けた研究開発や、ビッグデータ分析によるグリーン・水産バリューチェーンの確立などについて取り組みます。
		<b>観光分科会</b>	観光産業とその周辺産業との連携に根付く、先端技術を活用した新観光産業の創出・育成に挑戦します！ワーキンググループでは、様々な分野の知見を活用し、オープン・イノベーションでサステイナブルな観光と地域の未来の創出に向けて取り組みます。
		<b>グリーンイノベーション分科会</b>	グリーンエネルギーやカーボンリサイクル分野の技術革新とビジネスモデル構築の創出・育成に挑戦します！ワーキンググループでは、環境発電デバイス開発からサービスソリューション提供までのサプライチェーン構築や、中小規模の低濃度 CO2 に対応したカーボンリサイクルビジネス連携プロジェクトの創出に取り組みます。
<b>未来ビジョンⅡ</b>	<b>人材育成・地域定着</b>	<b>地元人材育成分科会</b>	北陸地域の地元人材の能力開発や、実践的な知見の獲得・醸成に挑戦します！ワーキンググループでは、事業創造力や経営力を持った若手人材（大学生等）の育成や、地元人材（社会人等）のキャリアアップ、スキルアップなどについて取り組みます。
		<b>人材流入・地域定着分科会</b>	都市部や海外など、北陸以外からの人材の呼び込みと地域就業・定着に挑戦します！ワーキンググループでは、都市部人材と地元企業等とのマッチング促進や留学生・外国人人材の活用・地域定着などについて取り組みます。

#### 【問合せ先】

北陸未来共創フォーラム事務局  
(国立大学法人金沢大学内)

E-mail : hokuriku-mirai@ml.kanazawa-u.ac.jp

#### 【詳細・会員登録（入会）】

<https://hokuriku-mirai.jp>

北陸未来共創フォーラム



## 金沢大学産学連携協力会のご案内

金沢大学産学連携協力会は、金沢大学先端科学・社会共創推進機構の事業を支援し、金沢大学と産業界が地に足のついた産学連携と相互の日常的な交流を進めることを目指し設立された団体です。

本会は、地域の産業や地域社会が抱える課題の解決に大学との協働により、積極的に取り組む企業様（特別会員）と金沢大学が行う各種活動を支援し、産学連携と相互の日常的な交流を進めることを目指す企業様、業界団体等（一般会員）で構成されております。

### 1. 協力会概要

【会員】 本会の事業に賛同する企業様、業界団体様等（約120機関、うち特別会員は21機関）

【会費】 年1口3万円（特別会員は10口以上）

【設立】 平成13年7月

### 2. 活動

- ① 全会員対象の活動
  - ・ 技術相談の実施支援
  - ・ 総会（年1回）、イノベーションシンポジウムと懇親会（年2回）の開催
  - ・ 研究室見学会の開催（年3回程度実施）
  - ・ 本学が出展する展示会、主催する新技術説明会等のイベント情報の発信
  - ・ 刊行物の発送（シーズ集、産学官・知財関連レポート等）
- ② 特別会員対象の活動
  - ・ 特別セミナー、地元企業様の工場見学、懇親会の開催
  - ・ 金沢大学の若手研究者奨励賞の授与

### 3. 入会のメリット

- ① 専門知識を必要とすご相談には、技術相談が有効です。最適な教員をご紹介します、対応させていただきます。会員企業様には、技術相談の実費の一部（年会費相当額まで）を、協力会よりサポートさせていただきます。
- ② セミナー、イベントでの金沢大学の教員との交流や、送付する刊行物を通じて、大学での研究活動の状況等をご理解いただけます。また、共同研究、技術相談ご検討のきっかけ作りとなる研究室見学会にご参加いただけます。
- ③ 有益な公的資金情報をご紹介しますと同時に、資金獲得に向け大学との連携の検討等を含め申請のサポートをいたします。
- ④ 協力会HPでは、大学から企業様へのご案内（技術研究情報・イベント・セミナー等）だけではなく、企業様自身のイベント案内にもご利用いただけます。 ※営利目的でのご利用はご遠慮ください。
- ⑤ 協力会HPから会員企業様HPをリンク掲載し、ご紹介いたします。簡単な企業様のPRも一文掲載可能ですので、お気軽にご相談ください。

#### ■協力会に関するお問い合わせ先

金沢大学産学連携協力会

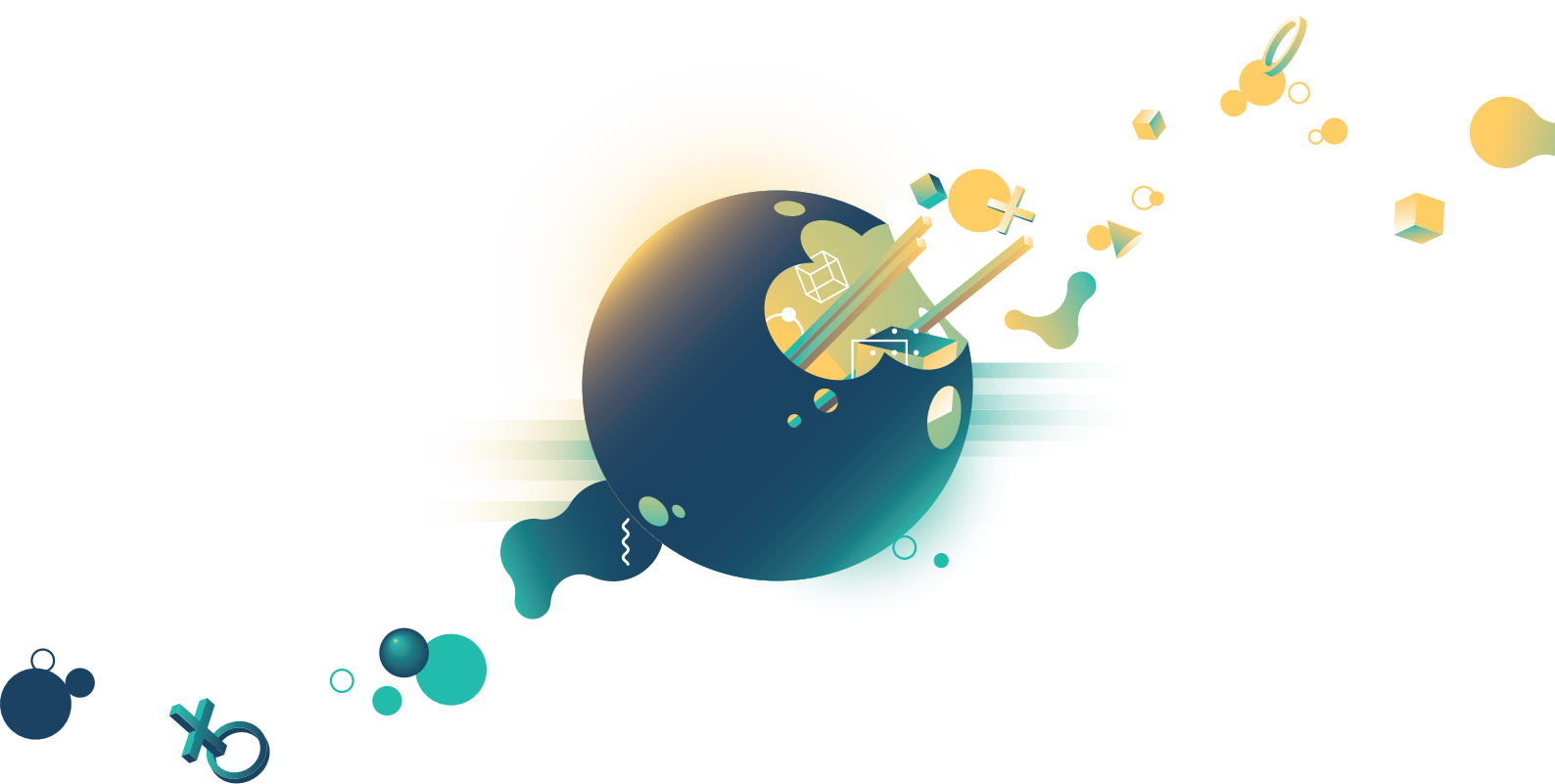
〒920-1192 石川県金沢市角間町

Tel : 076-264-6109 Fax : 076-234-4019

E-Mail [kyouryokukai@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:kyouryokukai@adm.kanazawa-u.ac.jp)

URL <http://www.innov-kyouryokukai.com/>





(連絡先)

## 金沢大学 先端科学・社会共創推進機構

〒920-1192 石川県金沢市角間町

T E L : 076-264-6111

F A X : 076-234-4019

E-Mail : [o-fsi@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:o-fsi@adm.kanazawa-u.ac.jp)

U R L : <https://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

